

2019年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2019年1月10日

上場会社名 東洋電機製造株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6505 URL https://www.toyodenki.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺島 憲造
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 大塚 貴敏 (TEL) 03-5202-8122
 四半期報告書提出予定日 2019年1月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年5月期第2四半期の連結業績(2018年6月1日~2018年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期第2四半期	19,635	5.3	△124	—	△21	—	146	△42.8
2018年5月期第2四半期	18,655	2.8	△232	—	47	△85.8	256	7.1

(注) 包括利益 2019年5月期第2四半期 △640百万円(—%) 2018年5月期第2四半期 1,374百万円(653.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期第2四半期	15.62	—
2018年5月期第2四半期	27.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年5月期第2四半期	61,722	24,415	39.6
2018年5月期	63,291	26,327	41.6

(参考) 自己資本 2019年5月期第2四半期 24,415百万円 2018年5月期 26,327百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年5月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2019年5月期	—	0.00	—	—	—
2019年5月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2018年5月期期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 20円00銭

3. 2019年5月期の連結業績予想(2018年6月1日~2019年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,500	△0.1	600	63.5	650	26.1	700	1.1	74.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2019年5月期2Q	9,735,000株	2018年5月期	9,735,000株
2019年5月期2Q	792,288株	2018年5月期	291,907株
2019年5月期2Q	9,371,547株	2018年5月期2Q	9,444,009株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
3. 決算補足説明資料	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2018年6月1日～2018年11月30日)における我が国経済は、米中の貿易摩擦や米国の金利上昇に起因する懸念が拡大しつつあるものの、インバウンド効果や賃金上昇により消費が堅調に推移し、ドル・円相場も安定的に推移していることから企業収益が拡大し、設備投資が増加するなど、緩やかながらも回復基調が続いています。また海外は、米国および欧州経済が好調で、中国をはじめとする新興国経済も高水準を維持しています。

こうした中、当社グループは2018年7月にスタートさせた中期経営計画「リ・バイタライズ2020(Revitalize2020)」に基づき、組織の力を強化し、高品質な製品を迅速に顧客に提供していくことで、利益を安定して生み出す“筋肉質な”事業運営体制を確立すべく、グループ一丸となって取り組んでいます。

当第2四半期連結累計期間における業績は次のとおりです。

受注高は、交通事業および情報機器事業が減少したことから、前年同期比2.7%減の192億16百万円となりました。

売上高は、全事業が増加したことから、前年同期比5.3%増の196億35百万円となりました。

損益面では、営業利益は、前年同期比1億8百万円改善し、1億24百万円の損失、経常利益は同69百万円減少し、21百万円の損失、親会社株主に帰属する四半期純利益は一部の政策保有株式の圧縮に努めたものの、同1億9百万円減少し、1億46百万円となりました。

<交通事業>

受注高は、国内向けが増加しましたが中国向けが減少したことから、前年同期比11.3%減の111億92百万円となりました。

売上高は、中国向けが減少しましたが国内向けが増加したことから、前年同期比3.7%増の131億24百万円となりました。

セグメント利益は、中国向け売上高の減少の影響により、前年同期比7.2%減の10億58百万円となりました。

<産業事業>

受注高は、試験機向けおよび加工機向けが増加したことから、前年同期比28.9%増の73億92百万円となりました。

売上高は、受注高と同様の事由により、前年同期比9.2%増の57億77百万円となりました。

セグメント利益は、原価管理、工程管理の強化および経費の圧縮に努めたことから、前年同期比1億56百万円改善し、1億23百万円となりました。

<情報機器事業>

受注高は、前年に受注した大型案件の反動減により、前年同期比55%減の6億21百万円となりました。

売上高は、新型車内補充券発行機が増加したことから、前年同期比2.8%増の7億24百万円となりました。

セグメント利益は、工場採算改善などにより、前年同期比89百万円増加し、1億24百万円となりました。

※報告セグメント別の売上高については、「外部顧客への売上高」であり「セグメント間の内部売上高又は振替高」は含みません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計については、たな卸資産の増加6億44百万円がありましたが、投資有価証券の減少13億71百万円などがあり、前連結会計年度末比15億69百万円減少の617億22百万円となりました。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計については、仕入債務の減少16億45百万円がありましたが、借入金の増加32億88百万円があり、前連結会計年度末比3億42百万円増加の373億6百万円となりました。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計については、自己株式の取得による純資産の減少7億99百万円、その他有価証券評価差額金の減少7億58百万円などがあり、前連結会計年度末比19億11百万円減少の244億15百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績および足元の経営環境を踏まえ、2018年7月12日に公表いたしました2019年5月期通期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「2019年5月期第2四半期連結業績予想と実績の差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,555	1,734
受取手形及び売掛金	16,960	16,884
電子記録債権	1,152	1,025
商品及び製品	1,006	1,311
仕掛品	3,506	3,725
原材料及び貯蔵品	3,319	3,439
前渡金	30	66
未収入金	547	382
その他	534	208
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	28,611	28,777
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,981	12,132
減価償却累計額	△4,707	△4,907
建物及び構築物(純額)	7,274	7,224
機械装置及び運搬具	7,742	7,927
減価償却累計額	△6,310	△6,501
機械装置及び運搬具(純額)	1,432	1,426
土地	1,301	1,301
建設仮勘定	320	235
その他	3,953	4,221
減価償却累計額	△3,116	△3,300
その他(純額)	837	920
有形固定資産合計	11,166	11,108
無形固定資産		
ソフトウェア	885	792
ソフトウェア仮勘定	3	—
その他	15	15
無形固定資産合計	904	807
投資その他の資産		
投資有価証券	19,681	18,309
繰延税金資産	95	151
その他	2,845	2,580
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	22,609	21,029
固定資産合計	34,680	32,945
資産合計	63,291	61,722

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,057	2,925
電子記録債務	6,295	5,781
短期借入金	7,241	10,739
未払法人税等	180	239
未払消費税等	38	101
未払費用	841	886
前受金	188	73
預り金	229	220
役員賞与引当金	25	12
賞与引当金	814	815
受注損失引当金	689	539
その他	1,716	876
流動負債合計	22,320	23,212
固定負債		
長期借入金	8,930	8,720
長期未払金	35	43
退職給付に係る負債	3,862	3,855
繰延税金負債	1,756	1,475
その他	58	—
固定負債合計	14,644	14,094
負債合計	36,964	37,306
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,998	4,998
資本剰余金	3,177	3,177
利益剰余金	10,579	10,253
自己株式	△480	△1,279
株主資本合計	18,274	17,149
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,111	7,352
為替換算調整勘定	188	135
退職給付に係る調整累計額	△247	△222
その他の包括利益累計額合計	8,052	7,265
純資産合計	26,327	24,415
負債純資産合計	63,291	61,722

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年6月1日 至2017年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2018年11月30日)
売上高	18,655	19,635
売上原価	14,887	16,030
売上総利益	3,768	3,605
販売費及び一般管理費	4,000	3,729
営業損失(△)	△232	△124
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	171	181
持分法による投資利益	71	—
為替差益	50	13
環境対策費用戻入益	40	—
雑収入	41	31
営業外収益合計	374	227
営業外費用		
支払利息	72	72
持分法による投資損失	—	4
固定資産廃棄損	0	4
支払手数料	10	—
雑損失	12	44
営業外費用合計	95	125
経常利益又は経常損失(△)	47	△21
特別利益		
投資有価証券売却益	390	347
その他	2	—
特別利益合計	392	347
特別損失		
創立100周年記念事業費用	—	20
固定資産売却損	7	—
特別損失合計	7	20
税金等調整前四半期純利益	432	305
法人税、住民税及び事業税	138	173
法人税等調整額	38	△14
法人税等合計	176	158
四半期純利益	256	146
親会社株主に帰属する四半期純利益	256	146

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年6月1日 至2017年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2018年11月30日)
四半期純利益	256	146
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,112	△758
為替換算調整勘定	△3	△9
退職給付に係る調整額	25	24
持分法適用会社に対する持分相当額	△16	△44
その他の包括利益合計	1,118	△787
四半期包括利益	1,374	△640
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,374	△640
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年6月1日 至2017年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2018年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	432	305
減価償却費	487	821
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	93	0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	13	△6
受注損失引当金の増減額(△は減少)	93	△168
受取利息及び受取配当金	△171	△182
支払利息	72	72
有形固定資産売却損益(△は益)	7	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△390	△347
売上債権の増減額(△は増加)	△172	280
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,434	△615
仕入債務の増減額(△は減少)	1,267	△1,708
前受金の増減額(△は減少)	△12	△114
未払費用の増減額(△は減少)	△80	42
その他	△585	460
小計	△1,378	△1,162
利息及び配当金の受取額	171	182
利息の支払額	△70	△69
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△483	△54
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,761	△1,104
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△939	△1,409
有形固定資産の売却による収入	74	—
無形固定資産の取得による支出	△64	△41
投資有価証券の取得による支出	△163	△7
投資有価証券の売却による収入	840	565
貸付けによる支出	△70	—
関係会社出資金の払込による支出	△124	—
その他	△3	188
投資活動によるキャッシュ・フロー	△451	△704
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,673	3,340
長期借入金の返済による支出	△101	△101
自己株式の取得による支出	△1	△799
配当金の支払額	△282	△470
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,287	1,969
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	18
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△920	178
現金及び現金同等物の期首残高	2,091	1,555
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,170	1,734

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2017年6月1日 至 2017年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	交通事業	産業事業	情報機器 事業				
売上高							
外部顧客への売上高	12,655	5,292	704	3	18,655	—	18,655
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	1	—	372	373	△373	—
計	12,655	5,293	704	375	19,029	△373	18,655
セグメント利益又は損失(△)	1,140	△33	34	22	1,163	△1,395	△232

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、労働者派遣に関連する業務等です。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,395百万円は、セグメント間取引消去△4百万円、各報告セグメントに帰属しない全社費用△1,391百万円です。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費です。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	交通事業	産業事業	情報機器 事業				
売上高							
外部顧客への売上高	13,124	5,777	724	8	19,635	—	19,635
セグメント間の内部売上高又は振替高	18	0	—	295	314	△314	—
計	13,143	5,778	724	304	19,950	△314	19,635
セグメント利益	1,058	123	124	16	1,322	△1,446	△124

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、労働者派遣に関連する業務等です。

2 セグメント利益の調整額△1,446百万円は、セグメント間取引消去△2百万円、各報告セグメントに帰属しない全社費用△1,443百万円です。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 決算補足説明資料

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産状況

事業の種類別 セグメント	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年11月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
交通事業	12,811	69.8	12,961	68.2
産業事業	5,357	29.2	5,333	28.1
情報機器事業	186	1.0	699	3.7
その他	—	—	—	—
合計	18,356	100.0	18,995	100.0

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注状況

事業の種類別 セグメント	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年11月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
交通事業	12,622	25,773	11,192	21,821
産業事業	5,736	7,593	7,392	8,305
情報機器事業	1,382	1,590	621	425
その他	3	—	8	—
合計	19,745	34,958	19,216	30,552

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売状況

事業の種類別 セグメント	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年11月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
交通事業	12,655	67.8	13,124	66.8
産業事業	5,292	28.4	5,777	29.4
情報機器事業	704	3.8	724	3.7
その他	3	0.0	8	0.0
合計	18,655	100.0	19,635	100.0

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。